

高橋 慶吉
法学研究科・教授

【研究】

主として2つの研究テーマに取り組んだ。1つは、研究分担者として参加している科研プロジェクト(東アジア国際秩序の歴史的形成過程:非西洋国際関係論と地域研究の接合)に関わる研究テーマである。この成果には次の2つがある。1つは、ワルシャワ大学との共同シンポジウムにおける発表である(“Unprecedented Threats for Japan and the World: North Korea, China, and the United States”)。もう1つは、『阪大法学』に発表した論文、「なぜペロポネソス戦争を語って、白村江の戦いを語らないのか—日本の国際政治学を問う」である。

もう1つの研究テーマとして令和7年度に取り組んだのが、執政長官文書の管理制度に関する国際比較研究である。共同研究者2人と、日本・アメリカ・イギリスの執政長官文書がどのように管理されているかを調査し、比較を行い、その長所・短所を探るという作業を行った。

【教育】

例年どおり、全学教育推進機構で1科目、法学部で2科目、法学研究科で2科目を担当した。法学部のゼミでは、青雲会懸賞論文への応募を必須とし、論文指導を行った。

大学院では、授業を担当するとともに、学生1名に対して修士論文の指導を行った。また、研究生2名を受け入れ、研究指導を行った。

【管理運営】

評価室と学生支援室の室員を務めるとともに、法政実務連携センター運営委員会委員と法学部同窓会(青雲会)幹事を務めた。また、国際公共政策研究科講座担当として、同研究科の会議(教授会など)に出席するとともに、入試業務に従事した。

【社会貢献】

帝塚山高校と雲雀丘学園高校の学生向けに模擬授業を行った。また、日本国際政治学会の研究大会の実行委員会で副委員長を務めた。